

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：障害者福祉推進課  
 担当名：総務・計画・団体担当  
 内線：3294

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S52	県民の理解を深める手話普及啓発事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者福祉啓発推進費			
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	埼玉県手話言語条例第7条			針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 10	
						分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット 10-2	
1 事業概要 手話を知っている人は多いが、手話ができる人は少ないため、手話への理解促進を図り、手話ができる人を増やすことが必要。そのため、市町村による地域の手話普及の取組を促進するとともに、広域行政を担う県も県民全体や事業者に対する手話普及の取組を推進する。  手話あいさつ100%運動 △615千円 節約による減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 手話アドバイザー派遣事業 980千円 聴覚障害者団体と連携し、これから手話普及の取組を始める市町村に手話アドバイザーを派遣する。市町村では、地域の聴覚障害者団体とも連携し、手話言語条例の制定とともに、地域における手話講習会や手話イベントの開催等の事業を実施する。 イ 手話あいさつ100%運動 2,385千円 県が聴覚障害者団体、市町村、学校等と連携し、広報、各種イベント、授業等で「手話あいさつ」を広く県民に周知し、「おはよう」「こんにちは」などの簡単な挨拶の手話ができるようにすることで、県民の手話への関心を高め、より一層の手話普及を促進する。  (2) 事業効果 障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」の実現に寄与する 手話の普及と手話を使用しやすい環境の整備の促進に寄与する  (3) 補正予算の概要 節約による減額補正 (配送業務を委託せず、県から直接発送した。)							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円											
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額		
決定額	△615							△615	3,365		
現計額	3,980							3,980			

## 事業内訳書

事業名	県民の理解を深める手話普及啓発事業		
単位事業名	手話あいさつ100%運動	予算額	△ 615千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△615	—	
合計	△615	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△27	—	執行留保等による旅費の減
委託料	△588	—	配送業務を委託せず、県から直接配送したことによる減
合計	△615	—	